

文部省

初等科音樂二



昭和二十一年六月二十四日 語類印刷

昭和二十一年六月三十日 語類印刷

(昭和二十一年六月十四日文部省令第百四)

初等科音樂二 第三年用

◎ 定價 金六拾五錢

著作権所有

著作者 文 部 省

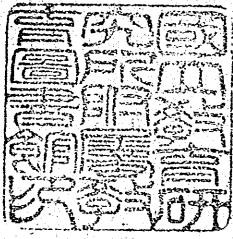
發行者 文 部 省

Approved by Ministry
of Education
Date Jan. 14, 1966.

東京都京橋區銀座一ノ五
翻 刻 大日本圖書株式會社
發行者 佐久間長吉郎
代表者 佐久間長吉郎
印刷者 佐久間長吉郎
東京都牛込區市谷加賀町一ノ二
印刷所 大日本印刷株式會社

發行所 大日本圖書株式會社

東京都京橋區銀座一ノ五番地



もくろぐ

一	春の海.....	1
二	作業の歌.....	3
三	若菜.....	5
四	轟.....	7
五	機械.....	9
六	野口英世.....	13
七	水泳の歌.....	15
八	青い空.....	17
九	村の鍛冶屋.....	19
十	漁船.....	21
十一	きたへる足.....	23
十二	かぞへ歌.....	25

一 春の海

一うすむらさきにほのぼのと、
朝の光はあたらしく、

のぞみを乗せて来るやうな
明かるい廣い春の海。

二のどかに波はさきやいで、
空と水とのあをみどり。

心も廣くなるやうに、
ゆたかにゆれる春の海。

春の海

mp.

一、ウスムラサキニボノボノト、
ニのどかにかなみはホサノボヤイー、
アソサラノヒミカズリとハのアタラシビドイリニコ、
ゾミロノヒセロテククナルヤウナアーユ、
カタルカヒニヒユロレルノウヌミミ

作業の歌

mf

4
一 サ ア サ ア ゲ デ ハ ケ
二 ち か ら あ レ て は ケ
三 コ コ ロ ヒ 二 タ ハ ラ
一 サ ア サ ア ゲ デ ハ ケ
二 ち か ら あ レ て は ケ
三 コ コ ロ ヒ 二 タ ハ ラ
mp

ミ ト ナ モ ヤ ヴ
さ す ル ス リ レ マ
ド ク ナ ウ フ ヴ
ミ シ ト ナ モ ヤ ヴ
も ク ナ ウ フ ヴ
ム ク ナ ウ フ ヴ
mf

サ グ サ グ グ ダ ク ニ
さ げ ふ ふ ふ だ い ハ
サ さ サ さ さ サ イ ハ
サ さ サ さ さ サ イ ハ
サ さ サ さ さ サ イ ハ
サ さ サ さ さ サ イ ハ

二、作業の歌

一 さあ さあ、 元氣で、 勵け、 勵け、
水くみ 草とり、

なんでもやうを
作業だ 作業だ ゆくわいに働け。

二、力をあはせて、勧け、
寒さも、暑さも、
わすれてしまふぞ。

作業だ、作業だ、いつしよに勧け。

どんどん仕事が進むぞ、進むぞ。



若葉

mp

3/4

一 アニさ ザわ やや カか ナな ミミ ドド リリ ヨよ
二 アユ 一二 カた ルカ イナ ミミ ドド リリ ヨよ
三 トリキタ ラを ツウ ツヅ ミメ ワラ ヤマ ヲを カオ クシ ほ カヲル
四 カヲル ソ ガ カカ ババ カカ ワわ カバ ルぐ カソ ヨ

三、若葉

一 あざやかなみどりよ
あかるいみどりよ
鳥居をつつみ
わら屋をかくし
かをる、かをる。
若葉がかをる。

二 さわやかなみどりよ
ゆたかなみどりよ
田はたをうづめ
野山をおほひ
そよぐ、そよぐ。
若葉がそよぐ。



-7-

蠶

mf

メテズ ジキネ
ハサイ ジヌイ
バナリ アマ
ヒオケ

キヌリ
カムル
ルはエ
カムル
コとフ

ノカヘ
ツシサ
ヤビツ
ノハタ
ヒ

ノニ一
ツニ一
トコヒ
ハペミ
シソカ
ルてノ
一
シ

ノカヘ
ツシサ
ヤビツ
ノハタ
ヒ

ノニ一
ツニ一
トコヒ
ハペミ
シソカ
ルてノ
一
シ

キリズ
カムル
ガハテ
メサシ
トトク
ノフツ
ヲのロ
トシコ
サハコ
アビモ
タヌス
タのム
ゼタミ
カヨカ
一一三

f

オヒメ
ロキシ
ハキツ
ハキツ

四、
蠶

トとト
ゴどゴ
一一一
ノぐノ
リソマ
さながら黒きちりの如く。
一 風あたゝかき五月のはじめ、
里の小女が取るやはばう。

一 風あたへかき五月のはじめ、
里の小女が取るやははうき。
はまおろしたる春のかひこ
さながら黒きちりの如く。

キのハ
はしの太さは小指となりぬ
きそひきそひて桑はむ音
木の葉に雨のそぞぐ如く。

三 かみも結ばず、夜さへいねす

心つくして一月あまり
ナのレ
サコウ
つとめしかひの見えたる今日

機械
二部輪唱

1. *mf*

2. *f*

mp

p

五、機械

工場だ

機械だ

鐵だよ 音だよ

どどどん どどどん

ピストン

腕だよ

あつちへ こつちへ
がたとん がたとん

車輪だ

ぐるぐる まはるよ
ぐるぐる ぐるぐる

車輪と

車輪に

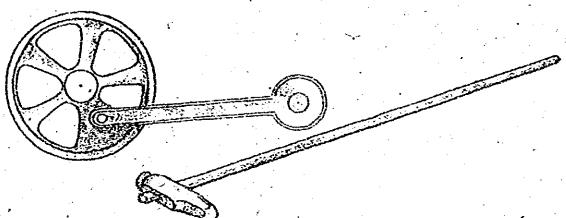
皮おびすべりよ
するする するする

齒車、

齒と齒とかみあひ
ぎりぎり、ぎりぎり。

動くよ
音だよ

鐵だよ ぐるぐる
がたとん どどどん



野口英世

六野口英世

トとト
ヒヒヒ
イタタ
一 磐梯山の動かない
姿にも似たその心。
苦しいことがおこつても
つらぬきとげた強ば人。
二 やさしく母をいたはつて
昔の師をばうやまつて
醫學の道をふみきはめ、
世界にその名あげた人。
三 波打ちも遠ハアフリカに
日本のほまれかがやかし
人の命をすくはうと
じぶんは命すべてた人。

水泳の歌

mf

ハはミ ハメハ ルるル ワとナ クブル
クカイ ノをホ ボドエ モもハ ハめハ
サバテ ヒキナ ハはミ ルねル バるシ
アシア 一二三 リはマ ミくキ ナロヨ
ミラサ ドでカ ルねル ノのノ コココ ラララ ラララ
オキノ オキノ オキノ オキノ オキノ

七、水泳の歌

一 朝日はのぼる、雲はわく。

みどりみなぎる、うな原に

泳ぐはわれら、海の子ら。

二 しぶきはをどる、かもめ飛ぶ。

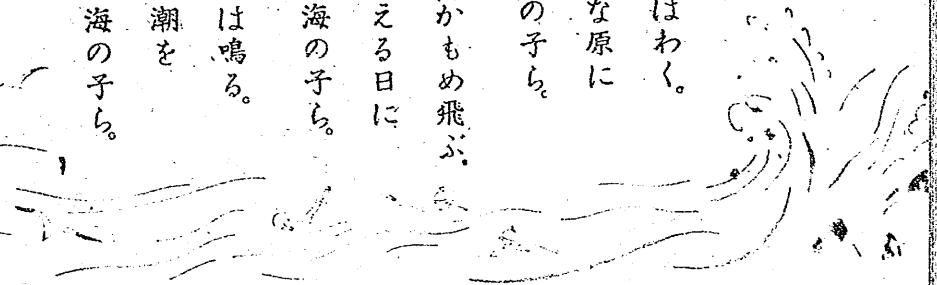
腕はくろがね、もえる日に

きたへてわれら、海の子ら。

三 あら波ほえる、岩は鳴る。

さかまき寄せる黒潮を

乗り切るわれら、海の子ら。



青　い　空

mf

3/4 time signature, treble clef.

Music staff 1:

```

    1. ノのノ ラララ アとド
    2. キキキ ソソソ ラララ
    3. ヨヨヨ ヨヨヨ ラララ
    4. アアア アアア ラララ
    5. ハハハ ハハハ ラララ
  
```

Music staff 2:

```

    1. ノのノ ノのノ ラララ モワコ
    2. ノのノ ノのノ ラララ モワコ
    3. ノのノ ノのノ ラララ モワコ
    4. ノのノ ノのノ ラララ モワコ
    5. ノのノ ノのノ ラララ モワコ
  
```

Music staff 3:

```

    1. ノのノ ノのノ ラララ フイバ
    2. ノのノ ノのノ ラララ フイバ
    3. ノのノ ノのノ ラララ フイバ
    4. ノのノ ノのノ ラララ フイバ
    5. ノのノ ノのノ ラララ フイバ
  
```

Music staff 4:

```

    1. ノのノ ノのノ ラララ アタシ
    2. ノのノ ノのノ ラララ アタシ
    3. ノのノ ノのノ ラララ アタシ
    4. ノのノ ノのノ ラララ アタシ
    5. ノのノ ノのノ ラララ アタシ
  
```

Music staff 5:

```

    1. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    2. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    3. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    4. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    5. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
  
```

Music staff 6:

```

    1. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    2. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    3. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    4. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
    5. ノのノ ノのノ ラララ ナヒニ
  
```

八、青　い　空

一 青　い　よ、青　い　よ、秋　の　空、
明　か　る　い　黄　い　ら　な　山　々　の、
も　み　ち　に　う　つ　つ　て、な　ほ　青　い。

二 廣　い　よ、廣　い　よ、秋　の　空、
ど　ん　ぼ　が　す　い　す　い　飛　ん　で　あ　る、
わ　た　し　も　あ　ん　な　に　飛　び　た　い　な。

三 晴　れ　た　よ、晴　れ　た　よ、秋　の　空、
ど　こ　か　ら　ど　こ　ま　で　す　ん　で　あ　て、
心　も　か　か　や　く　日　本　晴。



村の鍛冶屋

mf

二
あるじは名高いはたらき者よ。
早起き早寝の、やまひ知らず。
鐵より堅いとじまんの腕て。
打ちたす刃物に心こもる。

一
しばしも休まずつち打つ響き。
飛び散る火花よ、はしる湯玉。
ふいこの風さへ息をもつがず、
仕事に精出す村の鍛冶屋。

九、村の鍛冶屋



漁 船

十、漁船

えんやら、えんやら船拍子そろへて、

朝日の港をこぎ出されふ船

それ、こげ、それ、こげ、おもかぢど

二 ゆらりや、ゆらりと、波間にゆられて、

いそにはあみ船、沖にはつり船

あみにも、糸にも、魚のかずかず。

卷之三

三 えんやら、えんやら、獲物えのぶつに勇んで、

入田の沖をは急いでこく船

見。見。ほへに妻子が近へ

卷之三

-23-

きたへる足

mf

オホツコ ホチヒと ラテニ フシ 下か リリ
 一二み ボチヒと ハスレチ テニ フシ 下か リリ
 ココロコロハはヒトツルヒキハラズラム
 アアシシナドミリソカヘグングングンアアルケ
 ミミシンシナナゲンゲンキキデタタヘルアシダ

みんな元氣で、きたへる足だ。

十一　きたへる足

一大空晴れて深みどり。
心はひとつ、日はうらら。
足並そろへ、

ぐんぐん歩け。

みんな元氣で、きたへる足だ。

二道一筋にしも光り、

心はをどる、氣ははずむ。

足どりかるく、

ぐんぐん歩け。

みんな元氣で、きたへる足だ。



-24-

十一　きたへる足

一大空晴れて深みどり。
心はひとつ、日はうらら。
足並そろへ、

ぐんぐん歩け。

みんな元氣で、きたへる足だ。

二道一筋にしも光り、

心はをどる、氣ははずむ。

足どりかるく、

ぐんぐん歩け。

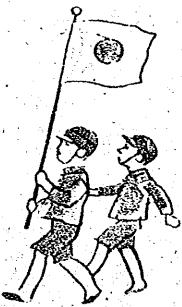
みんな元氣で、きたへる足だ。

-25-

かぞへ歌

-26-

A musical score for 'Tere Nekuni' in G major. The vocal line consists of six measures of music with lyrics written below each note. The lyrics are: テレニクニ イナイヨヒ マとネギカ ヴミイウツ ミたデキヤオ. The vocal part starts with a dynamic of *mf* and ends with *Vp*. The piano accompaniment has a simple harmonic progression with sustained notes.



道草しなひで學校にお使ひに。
六つとや、虫でも、草でも、氣をつけて
自然の姿を調べませう、學びませう。
七つとや、仲よくみんなでお當番、
ふく人はく人はたくさんみがく人。

八つとや、休みの時間は、元氣よく、
まり投げ、なは飛び、鬼ごっこ、かくれんぼ。
九つとや、心は明かるく、身は軽く、
進んで仕事の手傳ひに、朝夕に。

十とや、十を十まではたすのは
正しい日本の子どもたちわたくしたち。

十二、かぞへ歌



一つとや、ひとりで早起き、身を清め、
日の出を拜んで、庭はいて水まで。
二つとや、ぶたんにがらだをよくぎたへ、
お國にやくだつ人となれ、民となれ。
三つとや、身支度きちんと整へて、
ことばは正しくはきはきとて、いねいに。
四つとや、よしあしははずによくかんで、
御飯をたべましよ、ころよく、行儀よく。
五つとや、急いで行きましよ、左側。

文 部 省

初等科音樂三

